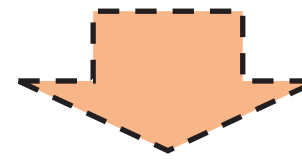


# 札幌市下水道事業の計画体系について

## 札幌市下水道ビジョン 2020 (H23~H32)

【施策の方向性を示す】：平成 23 年 3 月策定

- 下水道事業に求められる本来の役割を果たし、次世代へ良好な生活環境や社会基盤施設を引き継ぐため、10 年間で取り組むべき施策の方向性を示す  
基本方針：次世代へ良好な「暮らし」「環境」「資産と技術」をつなぎます。



## 札幌市下水道事業中期経営プラン 2015 (H23~H27) 【アクションプラン】

- ビジョンで掲げた目標を具体的に実現するための5 年間の行動計画 (アクションプラン)として位置付けている

## 次期中期経営プラン (H28~H32)

- 施設更新の推進  
(平成 27 年度中、策定予定)

## ～札幌市の下水道を取り巻く環境の変化～

- 来たるべき施設の改築に向けて
  - ▼ 昭和 40 年代から 50 年代に集中的に整備を行ってきた多くの下水道施設は老朽化が進行し、本格的な改築時代が到来します。
    - より効率的・効果的な維持管理や改築が必要となります。
  - ▼ 札幌市戦略ビジョンでも示された人口減少・超高齢社会の到来。
    - 将来を見通した維持管理・改築が必要となります。
- 下水道機能のレベルアップ
  - ▼ 東日本大震災などの地震災害や、いわゆるゲリラ豪雨などの被害を踏まえ、安全・安心な社会の実現を目指す。
    - 被害軽減に向け、機能の強化が必要となります。
  - ▼ 特に、東日本大震災以降、エネルギー政策の見直しがクローズアップされています。
    - 多くのエネルギーを使用する下水道事業として、省エネルギーの推進を図る必要があります。
    - さらに一歩進んで、下水道の持つ潜在的エネルギーをどう活用していくのか、検討していく必要があります。
- これらに対応する取組を進める際の視点
  - ▼ 普及率が 99.7% に達した今日、市民の下水道への関心が薄れている。
  - ▼ 今一度、下水道のプレゼンス（存在感）の向上を目指す。（国土交通省：新下水道ビジョン）

